



多頭飼育・不適正飼育の問題

～その困ったは動物たちのSOSかもしれません～

私たちの身近には、適正な環境で飼われない動物たちがいます。

特に最近では、犬や猫を過剰な数で飼育し、十分な世話ができなくなってしまう「多頭飼育崩壊」が全国的に問題になっています。

不適正飼育とは？

.....



「不適正飼育」とは、動物の命や健康を損なうような状態のことです。

たとえば...

- ・糞尿がたまり、悪臭や害虫が発生している
- ・痩せ細ったり、病気を放置されている
- ・十分な食事・水・医療が与えられていない
- ・暑さや寒さへの対策がされていない
- ・鳴き声や臭いなどで近隣に迷惑をかけている



これらは、動物虐待や飼育崩壊に繋がる大きな問題です。

多頭飼育の背景には...



多くの場合、悪意があるわけではなく、善意から始まった飼育が徐々に行き詰まり「自分ではどうにもならない」となってから事態が表面化します。

- ・飼い主の高齢化や病気
- ・経済的な困窮
- ・繁殖制限（避妊・去勢）をしていなかったため急増
- ・外部との関わりが減り、孤立してしまったケースなど

放置すると、動物の命が危険にさらされるだけでなく、近隣住民とのトラブルや、行政の緊急対応が必要になることもあります。



もしかして？
と思ったら

- ・近所から異臭がする
- ・窓からたくさんの動物が見える
- ・鳴き声が昼夜問わず聞こえる
- ・飼い主が飼育に困っている様子がある

そんなときは、早めにご相談ください。

相談窓口

神奈川県小田原保健福祉事務所
環境衛生課

☎0465-32-8000（代表）